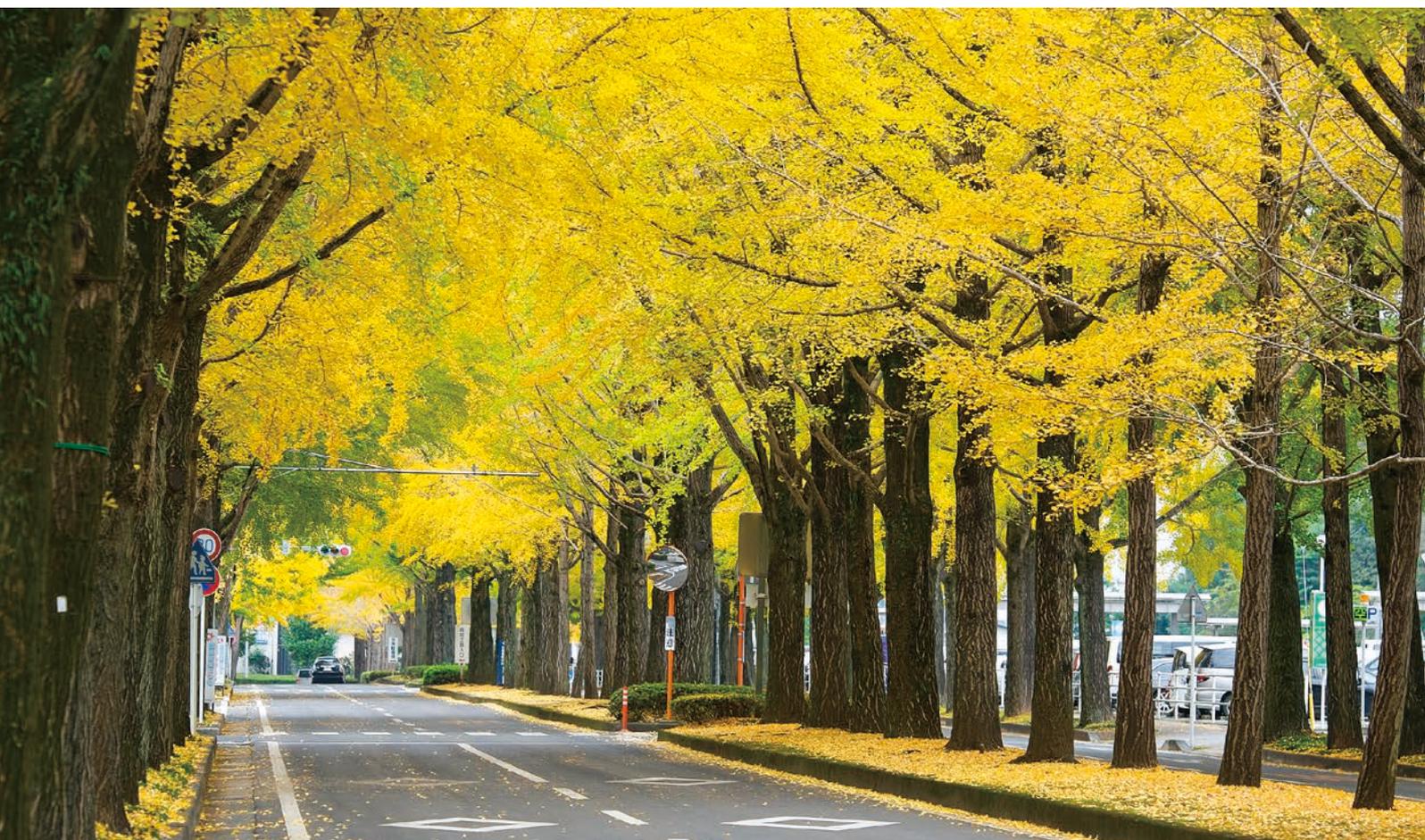


獨協医科大学病院だより

— Dokkyo Medical University Hospital News —



令和3年11月21日(日)～11月27日(土)
医療安全推進週間

厚生労働省では、平成13年に開始された「患者の安全を守るための共同行動(PSA)」の一環として、医療機関や医療関係団体等における取り組みの推進を図り、また、これらの取り組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを目的として、11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を「医療安全推進週間」と定めています。

当院においては「医療安全推進センター」が中心となり、様々な活動を通して日々安全管理体制の確保に努めています。



院内安全ラウンドの様子

世界患者
安全の日

毎年9月17日は、WHO
(世界保健機関)が定めた
「世界患者安全の日」
です。

令和3年(2021年)

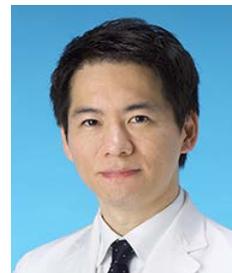
秋号



第47号

診療科紹介 総合診療科

高齢社会や高度専門化された医療の現在を反映し、多面的な健康問題を抱える患者さんや臓器を特定しにくい原因不明の病態に悩む患者さんは増えています。高度医療を展開する病院において、その複雑性への対応が地域として求められる中、そのような複雑性かつ急性の病態にも対応する科として、私たちの科は2016年4月に創設されました。栃木県を中心とした地域の皆様の健康を守ることが最大の目的であり、また同時に、地域医療に貢献する診断・治療の能力を備えた総合診療医や、広い視点を持って地域医療を俯瞰し行動できる医療人材を育成することも当科は目標としています。



診療部長
志水 太郎

当科に在籍する医師チームは、急性期から慢性期まで、若年者から高齢者まで、頻度の高い疾患から稀な疾患まで、在宅から病棟まで、幅広い医療現場で訓練を受けた内科医師を中心に構成されています。多面的な健康問題を抱える患者さんや臓器を特定しにくい原因不明の病態に悩む患者さんと真摯に向き合い、それぞれの健康状態の改善を目指し、患者さんの治療に貢献させていただきます。診察の結果、特定の専門家の診察が必要と判断される場合は、各該当の専門科と連携し紹介受診とさせていただきます場合もございます。

大学病院として有数のPETセンターなど豊富な検査機器などを内包したハード面での特徴に加え、国際ガイドライン作成など含め各領域を世界的にリードする臨床のスペシャリストらとの円滑な連携が可能です。医局員は地域（離島）医療、がん治療、緩和ケア、在宅医療、救急医学等、様々な分野で研修を積んだ医師で構成されており、また頻繁に科内カンファレンス等を開催し、最新のエビデンスの活用はもちろん、患者背景や社会的状況に応じた包括的、俯瞰的な視点に基づいた診療を実現しています。

受診される方には、成人の、原因のわからない症状の方が多くいらっしゃいます。発熱、痛み、しびれ、むくみなど、または多種症状が混在する方など、多岐にわたる症状の方が多いです。当科は病院の性質上は原則紹介受診とさせていただきます。ご来院の場合はまず獨協医科大学病院 総合診療科外来にお電話でご予約くださり（直通TEL：0282-87-2054）、より正確な診断のため、また診療を円滑に進めさせていただくため、必ず診療情報提供書（紹介状）ご持参でご来院ください。外来の込み合いが予測されますため、待ち時間が長くなる可能性がございます。ご了承ください。

よろしくお願ひ申し上げます。

専門看護師紹介

感染症看護専門看護師

感染制御センター 星野 三奈



1. 専門看護師とは

専門看護師制度は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた専門看護師を言います。病院・施設・地域等で、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的としています。

日本看護協会により認定された資格で、1995年に発足し2021年現在13分野全国で2733人の専門看護師が活躍しています。

私は、感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師・看護師特定行為研修修了者として、施設や地域における個人や集団の感染予防と発生時の適切な対策に従事するとともに感染症の患者に対して水準の高い看護を提供するために活動しています。

2. 感染症看護専門看護師の役割

- 1) 患者個々に対応します
 - 臨床徴候、治療、感染防止に基づき適切な患者ケアの実践
 - 患者・家族、スタッフへの教育・啓発、調整
- 2) 集団に対応します
 - 医療関連感染サーベイランス
 - 環境管理
 - 発生時対応
- 3) 地域と連携、感染対策を推進します
 - 医療施設間の連携
 - 地域における感染症・感染予防の教育や啓発活動
 - 輸入感染症に対する相談対応
 - 行政との連携
- 4) 病院内に出入りするすべての人々を感染から守ります
 - 職業感染対策
 - 施設内の感染防止組織づくり

感染症看護と
感染対策は
おまかせ下さい！



3. どのような活動をしているのか

新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない中、現在も各医療機関や施設では対応が続けられています。

病院を利用する皆さん、病院内で勤務するスタッフが安心・安全に過ごせるように、縁の下の力持ちとして支援しています。

4. 今後の活動

病院内の感染管理に加え、患者さんが納得して治療方針の選択ができるように意思決定支援をすることに力を入れていきたいです。

風邪気味かな？
 ～新型コロナウイルス感染症かもしれません～
 季節の変わり目になりました
 朝の気温が次第に下がり 朝晩・日中の気温差が大きく
 体への負担が大きくなりやすい季節です

風邪かな？と思ったら熱がなくても必ず自宅静養

気温の変動による体調不良に注意が必要！ただの風邪ではないかもしれません

初期症状は風邪かコロナかの判断が難しい

症状あり
 発熱・咽頭痛・頭痛・
 倦怠感・消化器症状等

出勤・登校等は
 せず自宅静養

出勤・登校等は
 症状の回復後

医療機関の
 受診を検討

勤務先・通学
 先の判断要

体調不良者の自宅静養中は「コロナかも・・・」と注意して対応することが必要
 1. 体調不良者は、自宅内でも可能な範囲で隔離及び常時マスク着用とする
 2. 体調不良者の世話をする家族は同じ人に限定し、マスク着用と手指衛生

学校
 職場
 保育園

各家庭で日々の感染対策や本人や家族の体調不良時の適切な対応が
 「コロナの集団感染へのリスクを最小」にでき職場や学校など
 水際作戦につながります

DOKKYO MEDICAL UNIVERSITY
 CENTER FOR DEMENTIA-RELATED DISEASES

獨協医科大学
 認知症疾患医療センター

特別対談
ダイヤモンド ユカイさん

聞き手
 獨協医科大学病院
 認知症疾患医療センター センター長
下田 和孝

対談テーマ
さあ困った！
 認知症と運転免許返納:私の体験

こちらのURLから閲覧が可能です
<https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-m/psy/2021.mp4>

公開時期 2021年10月1日～11月30日



～病院へのお手紙に関するご回答～

イチヨウ並木の道路にカラスの羽と“ふん”がたくさん見られます。多分そこがねぐらになって
 いると思われます。駆除するか、追いはらって下さい。鳴き声もうるさいですし、羽が気になります。
 出来るだけ早い対処をお願いします。

(回答)
 ご意見ありがとうございます。
 カラスは鳥獣保護法で守られており、駆除することができません。
 現在、カラスが当院に来ないように対策はしておりますが、カラスはとても賢いため危害が加わ
 らないと分かれば、再びやってきます。今後、カラスによる被害を緩和できるよう引き続き対応
 を考えていきます。

9月から無料 Wi-Fi ご利用いただけます



Free Wi-Fi

SSID
 ネットワーク名 **DokkyoHP-Free**

PASSWORD
 パスワード **3 2 1 - 0 2 9 3**

獨協医科大学病院だより第47号

〒321-0293
 栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地
 TEL 0282-86-1111 (代表) FAX 0282-86-4775

当広報誌は当院ホームページよりご覧いただけます。

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

発行年月日 / 令和3年10月
 発行・編集 / 獨協医科大学病院
 印刷 / 株松井ピ・テ・オ・印刷